

令和5年度後期特別企画展
越中立山の近世本草学 —何でもあり! あふれる探求心—

江戸時代のウェルビーイング

心の豊かさ、知る楽しさを求めた
“何でもありの世界”がそこに!

本草学は古く中国から伝来し、生薬の知識としていかされてきましたが、江戸後期になると西洋博物学の影響を受け、そこから“近世本草学”が独自に深化しました。それは泰平の世に、産物を生活や心の豊かさにつなげウェルビーイングな時間を求めて隆盛した、“何でもありの教養世界”でもありました。

明治維新後、本草学は西洋の近代科学の陰に隠れ歴史に埋もれました。今回、改めてそのような人と自然がしなやかに共存していた世界に光を当てます。

この企画展では、江戸時代に越中立山の山野を観察して記載、収集してきた様々な“近世本草学”の成果と、それを明治に引き継ごうとした人々の営みを紹介します。

展示の見どころ

- ・嘉永4年(1851)、京都の本草家・山本溪山が立山で採集した高山植物標本を、その写生画と共に紹介。
- ・江戸時代、芦峯寺や岩峯寺の宿坊に伝来した「神代石」(石棒や独鈷石)が描かれた絵巻物を紹介。
- ・明治期、植物学を独学し、日本中の“植物戸籍簿”作製を目指した、旧福光町の谷村西涯が遺した膨大な「大日本本草」草稿から、高山植物の写生画を中心に紹介。

主な展示品

- ◆近世本草学へつながる西洋医学の「知」…
 - ・『解体新書』(個人蔵)
- ◆近世本草学が紹介した立山の高山植物…
 - ・**24年ぶり富山で公開**「本草動物植物写生図譜」、
 - ・**初公開**「嘉永辛亥七月 越中立山採薬之日所得葉腊三十品」
(いずれも京都府立京都学・歴彩館寄託)
- ◆神代石と越中立山の意外な結びつき…
 - ・『神代石之図 上巻』(関西大学図書館蔵)
 - ・**富山初公開**『天下諸名家所蔵之奇石異物図』(原孝昭氏蔵) ①
 - ・前田利常奉納の誕生石(大岩山日石寺蔵)
- ◆石崎光瑠とも親しかった、知られざる植物愛好家 谷村西涯が見た立山の草花…
 - ・**初公開**「大日本本草」草稿(個人蔵) ②



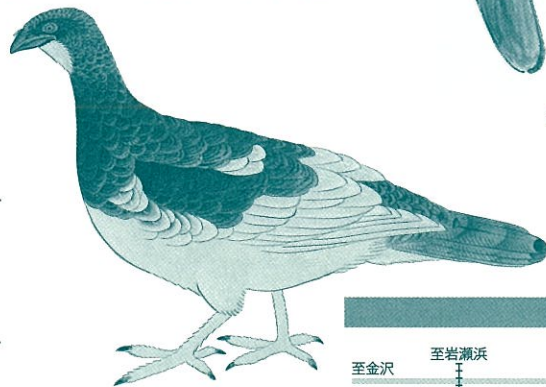
石崎光瑠が立山で採った
 チョウノスケソウの図



越中立山の誕生石の図



①



山本溪山写生 鳥類 雷鳥
 (京都府立京都学・歴彩館寄託)

担当学芸員の展示解説会

9月16日(土)、10月9日(月・祝)、11月4日(土)
 いずれも14:00～

会期中の休館日

9月19日(火)、25日(月)、10月2日(月)、10日(火)、
 16日(月)、23日(月)、30日(月)

会場：富山県[立山博物館] 展示館1階 企画展示室
 主催：富山県[立山博物館]
 共催：北日本新聞社
 後援：北日本放送、チューリップテレビ、富山テレビ放送、
NHK 富山放送局、Net3

富山県[立山博物館]

〒930-1406 富山県中新川郡立山町芦峯寺93-1
 電話076-481-1216 FAX076-481-1144
<https://www.pref.toyama.jp/1739/miryokukankou/bunka/bunkazai/home/index.html>



【電車の場合】
 富山地方鉄道立山線「千垣駅」
 下車後、徒歩(約2km)
 ※日曜日を除き、千垣駅から町営バス運行

【車の場合】
 JR富山駅から約45分
 富山地方鉄道「立山IC」から約15分
 北陸自動車道「富山IC」から約35分
 「立山IC」から約30分

